

学校法人滋慶学園 北海道ハイテクノロジー専門学校
2024 年度 学校関係者評価委員会 議事録

日時：2024 年 5 月 27 日(月) 13:30-15:43
場所：北海道ハイテクノロジー専門学校 第 5 校舎シミュレーションセンター

参加委員は以下の通り

区分	氏名	所属	役職
卒業生代表	佐伯 聡	株式会社 フロンティアサイエンス	代表取締役社長
保護者代表	鈴木 弘美	在校生の保護者	
高等学校関係者	大場 真哉	帯広大谷高等学校	教諭
地域関係者	早坂 貴敏	近隣関係者	北海道議会議員
業界関係者	白川 努	株式会社 サン格林太陽園	執行役員
業界関係者	上見 崇	斜里地区消防組合消防本部	次長

事務局出席者は以下の通り

氏名	所属	役職
佐藤 俊	北海道ハイテクノロジー専門学校	学校長
小川 昭久	学校法人 滋慶学園	理事運営本部長
三瓶 晃司	北海道ハイテクノロジー専門学校	事務局長
早坂 正利	北海道ハイテクノロジー専門学校	教務部長
荒木 周平	北海道ハイテクノロジー専門学校	コンプライアンスセンター長
佐々木 謙一	北海道ハイテクノロジー専門学校	学生サービスセンター長
川端 真理	北海道ハイテクノロジー専門学校	広報センター長
上野 正博	北海道ハイテクノロジー専門学校	産学・高専連携センター長
山影 博明	北海道ハイテクノロジー専門学校	コンプライアンスセンター

1. はじめに

学校長佐藤より挨拶。

2. 議長の選出

株式会社 フロンティアサイエンス 佐伯 聡 様が選出された。

3. 委員会の概要

職業実践専門課程や学校関係者評価委員会の目的について事務局より説明がなされた。

特段、委員より質問・意見は出なかった。

4. 事業報告

事業報告について事務局より説明がなされた。

●評価委員会議事の結果について●

1. 教育理念・目的・育成人材像について事務局より説明がなされた。

概要：学生を巻き込んだアントレプレナーシップ教育を鍼灸学科で実施したが今後は全学科で実施の計画し進めていきたい。また 2024 年度より救急救命士学科でレスキューコースの募集を開始する。

2. 学校運営について事務局より説明がなされた。

概要：学校運営についてはグループ 5 か年計画をもとに事業計画を作成し、コミュニケーションについては月 1 回の職員全員参加の会議、部門ごとの会議を行い一人ひとりの学生状況等の共有を行っている。業務システム・Garoon・box・Microsoft 365 を使用しグループ内の情報共有を図っている。

・佐伯議長より学生募集について質問があり現在何とか学生数は確保できている。

3. 教育活動について事務局より説明がなされた。

概要：教育課程について各委員会でいただいたご意見や評価を反映し掲載している。毎年学習成果発表会を開催し、講師や業界の方を招き評価をいただいている。長期履修制度を設け課程年数を過ぎた学生においても資格取得のフォローを行っている。卒業後の学び直しの実施。教員の質向上の研修も実施している。

・上見議員より卒業生の不合格者のフォロー体制と合格率は？不合格者へのフォロー体制を確立すると魅力がある学校になると思う。

4. 学修成果について事務局より説明がなされた。

概要：就職率の内訳、各学科の就職先、就職支援プログラムの内容について報告。国家試験結果の報告と分析結果の報告。MONOXER のアプリを使い日々の学習の定着を図っていきたい。

- ・佐伯議長より国家試験の結果について、合格率を上げるのに国家試験を受験させないなどあるか質問があったが、ハイテクは卒業試験で単位が取れていない学生は受験をさせていない。

5. 学生支援について事務局より説明がなされた。

概要：退学率の詳細及び退学防止へ向けた対策としてスクールカウンセラーの設置およびサポートアンケートを実施し学生の状況把握に努めている。

留学生のフォロー体制として、英語・中国語を話せる職員を採用し対応を図っている。

J キャリアスクール設置で卒業生のリカレント教育を実施している。

- ・白川議員より J キャリアスクールの利用人数は？法人全体で 20 % 前後ハイテクは調べないとわからないが、動画で何度も観ることが出来るので卒業生へ告知出来るように考えて行きたい。

- ・佐伯議員より精神疾患で退学する学生さんは多いか？ハイテクも 1 年次に退学する学生が多い、高校も 2 年生の退学者が多く、高校も通信制の学校を選ぶ学生が多い。

6. 教育環境について事務局より説明がなされた。

概要：施設・設備・機器等は法令に準拠している。学園が所有する敷地・施設が広大なため、消防計画書を作成し統括防火管理者、防火管理者の専任と防災訓練の毎年実施している。学生にはと安否確認システムのアプリを整備し学内には防犯カメラを設置している。

7. 学生の募集と受け入れについて事務局より説明がなされた。

概要：入学に関しては北専各連の定めたルールに基づいて行っている。北海道各地方からの入学希望者に対するサポートとして出張学校説明会を実施している。

- ・大場議員より学校に足を運んでガイダンス等を実施いただき感謝している。

8. 財務について事務局より説明がなされた。

概要：財務状況と監査は学校ホームページにて情報を公開している。

9. 法令等の遵守について事務局より説明がなされた。

概要：個人情報保護の体制については TRUST-e を取得し、その内容についても学校ホームページにて公開している。IT リテラシー向上を目的に、全学生及び職員が IT リテラシーテストを毎年実施している。

10. 社会貢献

概要：附帯事業としてフーレ恵み野、北海道ハイテク AC の紹介。IT メディア学科の学生が株式会社 CDP, 札幌市、猟友会とともに農業被害対策の鹿の駆除に参加した。

国際交流では、AI スマートアグリ学科の海外研修、中国に在中している鍼灸師学科の卒業生によるオンライン授業を実施した。各種マラソン大会、Redbull400、高体連の陸上と柔道の大会サポートの事例紹介。

11. 全体を通してご質問・ご意見

佐伯議長より久しぶりに学校に来て学生の皆さんの挨拶が素晴らしかった。

大場議員より柔道大会などで北海道ハイテクの柔道整復師学科のサポートを目にしていた。本日の委員会で学校を訪問した際も学生が挨拶してくれた。このことから、どんな教育がなされているのかを想像することが出来たし教育の成果を感じたとご意見をいただいた。

評価表に評価を記入していただき閉会 15:43

学校法人 滋 慶 学 園
北海道ハイテクノロジー専門学校

学校長 佐 藤

